



学校だより

とも あゆ
共に歩もう

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

誰もが安心の中に希望と勢いのある毎日を過ごせるようにと願い迎えた令和6年ですが、元日に発生した能登半島地震は今もなお余震が続ぎ、行方不明者の捜索や避難が続いています。被害に遭われた皆様がたにお見舞い申し上げますとともに、一日も早く日常を取り戻すことができますよう、心よりお祈り申し上げます。

12月のオープンスクールと作品展に保護者の皆様のご参観ありがとうございました。またお忙しい中、個人面談にお時間を取っていただきありがとうございました。子どもたちの成長を、学校と保護者の皆様との双方で共有し合い喜び合っ、次に向かう土台をつくる貴重な時間となりました。

今年辰年です。川や湖にはその地を守る龍神の伝説も多く、龍の出てくるお話も多くあります。その中の一つ「千と千尋の神隠し」はスタジオジブリが製作したアニメーション映画です。人によって解釈は様々ですが、私は登場するせんもハクも自分探しの旅を続けているように感じます。どのシーンも印象的ですが、千尋がハクの名前を思い出し、ハクが本来の姿を取り戻して空高く舞う龍の映像が特に思い浮かびます。「自分は何者であるのか」誰にもすぐには答えの出せない問いであるように思います。毎日の生活の中でふと思い出したり、追究し続けたりする問いでもあります。自分自身に問い続けるとともに、周りの人とかわることで新しい気づきにたどり着くこともあります。

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、感染予防対策のため見合わせていた学校の教育活動も、徐々に実施してきています。子どもたちの活動を見るにつけ、自分一人が力を発揮すると共に他者とかわる体験が、子どもたちにとって大切であることを実感します。自分一人のためだけでなく、自分以外の人も安心して心地よく過ごせることが大切であることを実感してほしいと思い、学校づくりに取り組んでいます。

じっくりと自分自身に向き合い、自問自答することも大切でしょう。さらに様々な活動や、人やものとのかわりを通して、多様な価値観と出会いながら自分自身を理解し認め、変容しようとする場の一つとして、学校が機能できるように今年も全教職員で取り組んでいきたいと思ひます。

大きな災害や事故が起り、支え合ことを大切に、行動することが求められる年明けとなりました。地域・保護者の皆様のご理解とご支援を今年もどうぞよろしくお願ひいたします。